



“地域のことは地域で考えよう”

2014年4月25日

## おきぎん県内景況・速報 2014年3月

—県内景況は、拡大している—  
2014年2月の上方修正より判断据え置き

### ■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。  
百貨店売上高は前年同月を上回る。  
家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数も上回る。

### ■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。  
生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

### ■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回る。  
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。  
観光施設入場者数は前年同月を上回る。

### ■企業倒産

件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

**現場主義とお客様からの信頼**

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2014年3月分)



◎概況：県内景況は、拡大している。

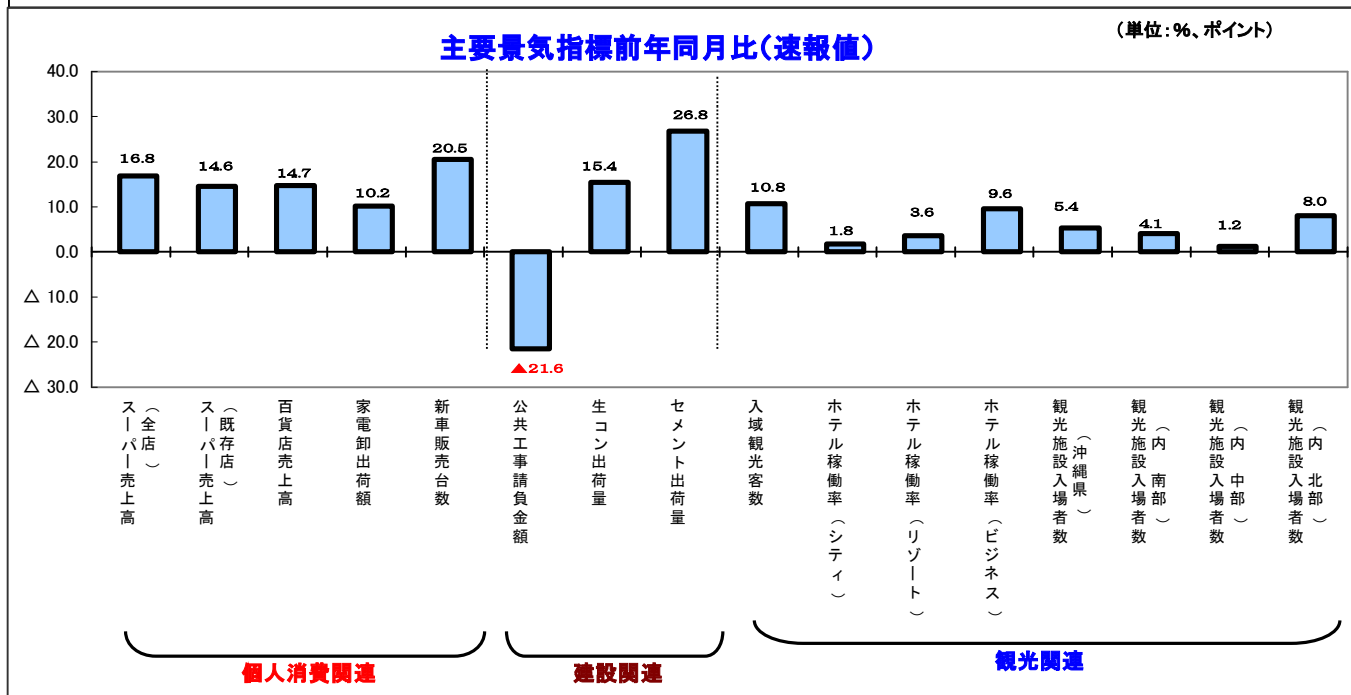
3月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース」「既存店ベース」ともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は衣料品や雑貨などが好調で前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、消費税増税前の駆け込み需要などにより前年同月を上回りました。新車販売台数も消費税増税前の駆け込み需要などにより前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は、前年の国や市町村発注による大型工事の反動などで前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は18ヵ月連続で前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回りました。観光施設入場者数は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、建設関連や観光関連で堅調な動きが続く中、個人消費においても耐久消費財等への需要に強さが増していることなどから「**県内景況は拡大している**」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月に上方修正後、据え置き)





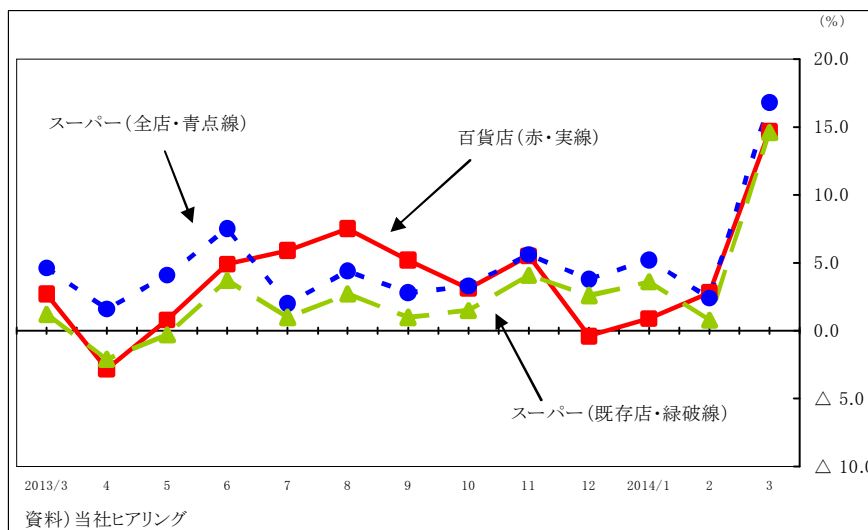
■個人消費: (良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高も前年同月を上回る。

単位: %

	スーパー売上額		百貨店
	全店	既存店	売上額
2013/3	4.6	1.2	2.7
4	1.6	△ 2.1	△ 2.8
5	4.1	△ 0.3	0.8
6	7.5	3.7	4.9
7	2.0	1.0	5.9
8	4.4	2.7	7.5
9	2.8	1.0	5.2
10	3.3	1.5	3.1
11	5.6	4.1	5.5
12	3.8	2.6	△ 0.4
2014/1	5.2	3.6	0.9
2	2.4	0.8	2.8
3	16.8	14.6	14.7

注) 前年同月比



3月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は、「全店ベース(前年同月比 16.8%増)」が20ヵ月連続で前年同月を上回りました。新規店舗の出店効果に消費税増税前の駆け込み需要なども加わり、ウェイトの高い「食料品(同 12.1%増)」や「衣料品(同 12.4%増)」、「家庭用品(同 36.4%増)」が前年同月を上回りました。

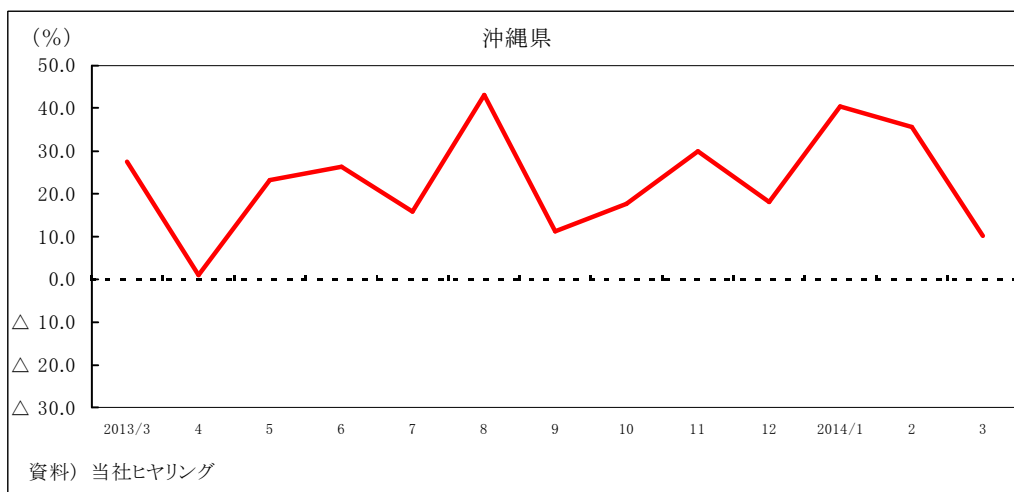
「既存店ベース(同 14.6%増)」では10ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 9.4%増)」は、消費税増税前の駆け込み需要(缶詰、レトルト食品、お米、油、調味料等)などにより売上高が増加し、前年同月を上回りました。「衣料品(同 11.3%増)」は、昨年比に比べ気温が低かったことから夏物衣料の売れ行きが低調だったものの、消費税増税前の駆け込み需要(スーツ、肌着、靴下等)などにより前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 36.3%増)」は白物家電(エアコン、冷蔵庫、洗濯機等)や日用品(ティッシュ、トイレトペーパー、シャンプー、化粧品等)の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

**百貨店売上高**は、衣料品や雑貨の売れ行きが好調で、3ヵ月連続で前年同月を上回りました(同 14.7%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 18.8%増)」は、消費税増税前の駆け込み需要や改装直前セール開催などにより、主力商品の「婦人服(同 18.3%増)」や「紳士服(同 11.0%増)」、「子供服(同 16.2%増)」の売上が増加し、前年同月を上回りました。「身の回り品(同 20.1%増)」は、アクセサリやブランド品などの売れ行きが好調で前年同月を上回り、「雑貨(同 37.0%増)」も、消費税増税前の駆け込み需要により化粧品などの売上高が増加し、前年同月を上回りました。一方、「食料品(同 0.2%減)」は、食料品催事の開催時期変更や改装に伴う一部店舗休業などにより前年同月を下回りました。

②家電卸出荷額…消費税増税前の駆け込み需要などにより前年同月を上回る。

単位: %

沖縄県	
2013/3	27.5
4	1.1
5	23.2
6	26.3
7	15.9
8	43.0
9	11.3
10	17.6
11	29.9
12	18.2
2014/1	40.4
2	35.6
3	10.2



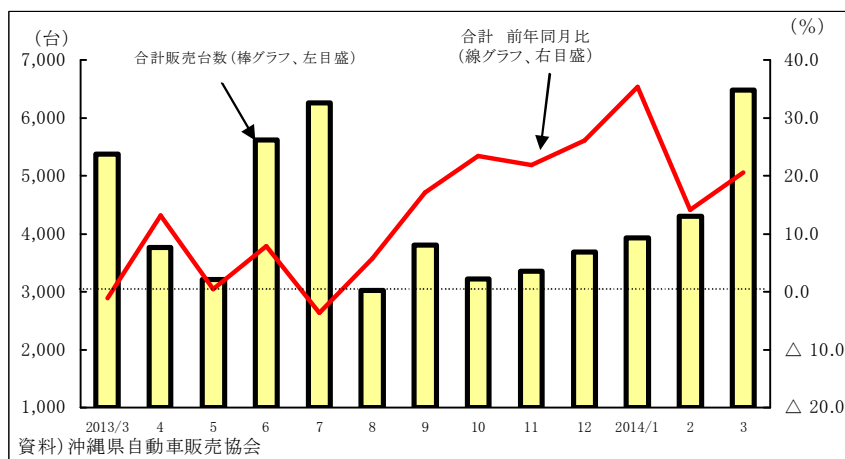
注)前年同月比

**家電卸出荷額**は、消費税増税前の駆け込み需要などにより、14 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 10.2%増)。品目別で見ると、「冷蔵庫(同 55.8%増)」や「洗濯機(同 73.8%増)」は、増税前の需要増加に伴い、家電量販店などにおいて在庫確保の動きが活発化したことから、前年同月を上回りました。「エアコン(同 23.8%増)」も、新築物件向け(アパート、ホテル、住宅等)の需要増加などにより前年同月を上回りました。また、アナログ放送終了(2011年7月24日)以降、需要低迷が続いていた「テレビ(同 6.3%増)」も8ヵ月連続で前年同月を上回りました。一方、「太陽光パネル(同 0.7%減)」は、2012年7月1日にスタートした「再生可能エネルギーの固定買取価格制度」の影響などにより、引続き需要の堅調さがみられるものの、需要が急増した昨年3月の水準までは売上が伸びず、前年同月を下回りました。

③新車販売台数…消費税増税前の駆け込み需要などにより前年同月を上回る。

単位: 台、%

	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2013/3	5,377	△ 1.1	△ 7.9	△ 6.4	4.5
4	3,763	13.2	△ 7.6	30.2	8.7
5	3,217	0.5	13.2	△ 3.8	△ 2.0
6	5,620	7.8	30.9	27.0	△ 13.4
7	6,267	△ 3.7	△ 7.8	△ 2.4	△ 9.2
8	3,023	5.8	△ 14.3	2.5	6.6
9	3,808	17.2	4.2	24.1	14.6
10	3,226	23.5	37.2	52.4	12.6
11	3,356	21.9	46.3	12.8	16.9
12	3,689	26.1	51.9	24.9	23.7
2014/1	3,929	35.4	54.4	61.6	24.4
2	4,307	14.1	43.0	△ 7.2	17.1
3	6,481	20.5	26.1	23.1	15.8



注)前年同月比

注)普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で 6,481 台となり、8 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 20.5%増)。消費税増税前の駆け込み需要などにより「普通乗用車(同 26.1%増)」が 7 ヶ月連続、「小型乗用車(同 23.1%増)」が 2 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました。「軽乗用車(同 15.8%増)」も、8 ヶ月連続で前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

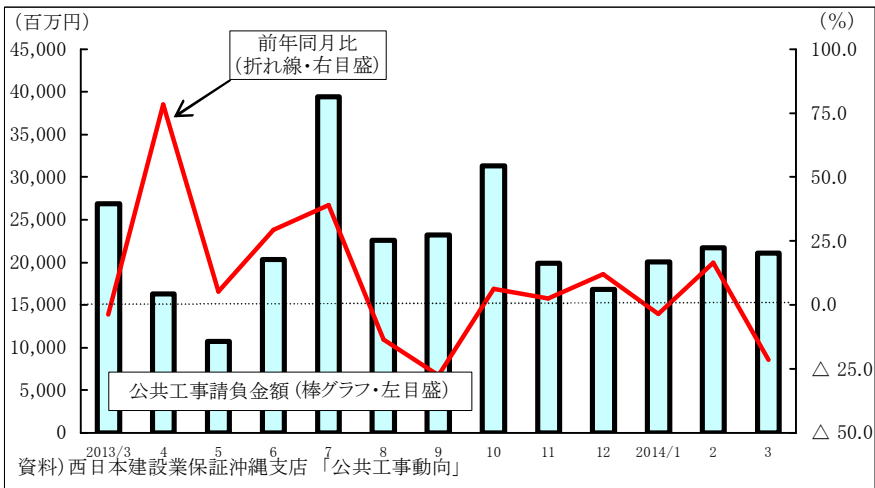


■ 建設関連: (良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

単位: 百万円、%

	請負金額	前年同月比
2013/3	26,905	△3.6
4	16,255	78.3
5	10,742	5.3
6	20,318	29.2
7	39,391	39.0
8	22,626	△13.4
9	23,182	△27.5
10	31,327	6.4
11	19,880	2.5
12	16,792	12.0
2014/1	20,056	△3.4
2	21,681	16.6
3	21,096	△21.6



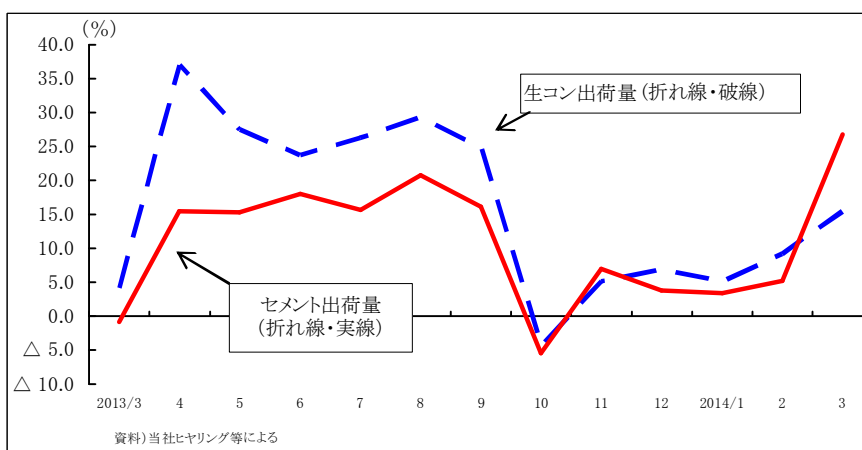
3月の公共工事請負金額は、前年同月比21.6%減の210億9,600万円となりました(2ヵ月ぶり減)。

発注者別でみると、「沖縄県(同11.0%増)」や「その他の公共的団体(同23.5%増)」が前年同月を上回ったものの、「国(同11.2%減)」は前年の防衛局発注による嘉手納基地関連工事等の反動、「市町村(同66.0%減)」は宮古島市でのごみ焼却施設等建設工事や那覇市内市営住宅の建替工事の反動などで下回り、全体を押し下げました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

単位: 前年同月比 (%)

	生コン	セメント
2013/3	4.1	△0.9
4	36.9	15.4
5	27.4	15.3
6	23.7	18.0
7	26.2	15.6
8	29.3	20.7
9	24.7	16.1
10	△4.4	△5.5
11	5.1	6.9
12	6.8	3.8
2014/1	5.1	3.4
2	9.1	5.2
3	15.4	26.8



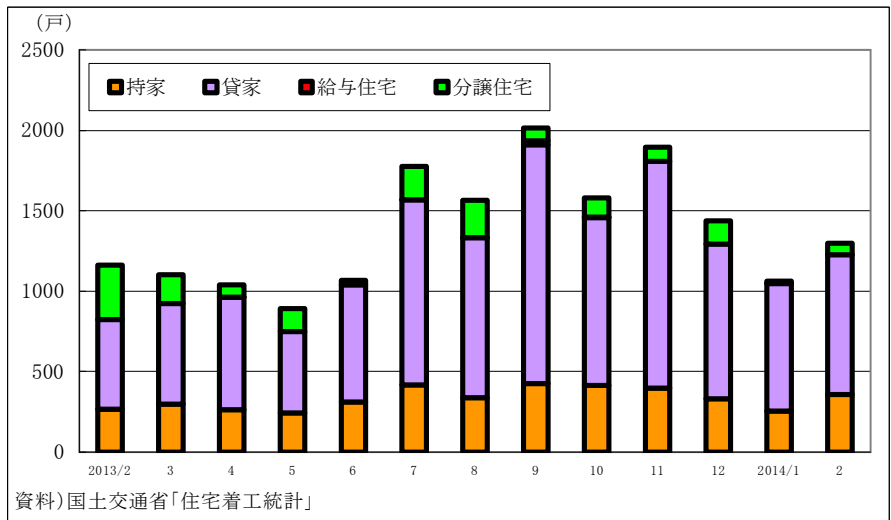
(注) セメント出荷量については速報値につき、確定数値ではない

建設資材関連では、生コンの出荷量は15.4%増加し、5ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より2.7%増加し、民間工事向け出荷も23.3%増加しました。セメントの出荷量は26.8%増と5ヵ月連続で前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資(2月分) …着工戸数は前年同月を上回る。

単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2013/2	1,162	62.5
3	1,103	51.1
4	1,041	△2.0
5	893	△23.3
6	1,068	11.9
7	1,777	32.2
8	1,565	28.8
9	2,014	72.4
10	1,580	29.2
11	1,895	60.1
12	1,437	49.5
2014/1	1,065	△1.7
2	1,298	11.7

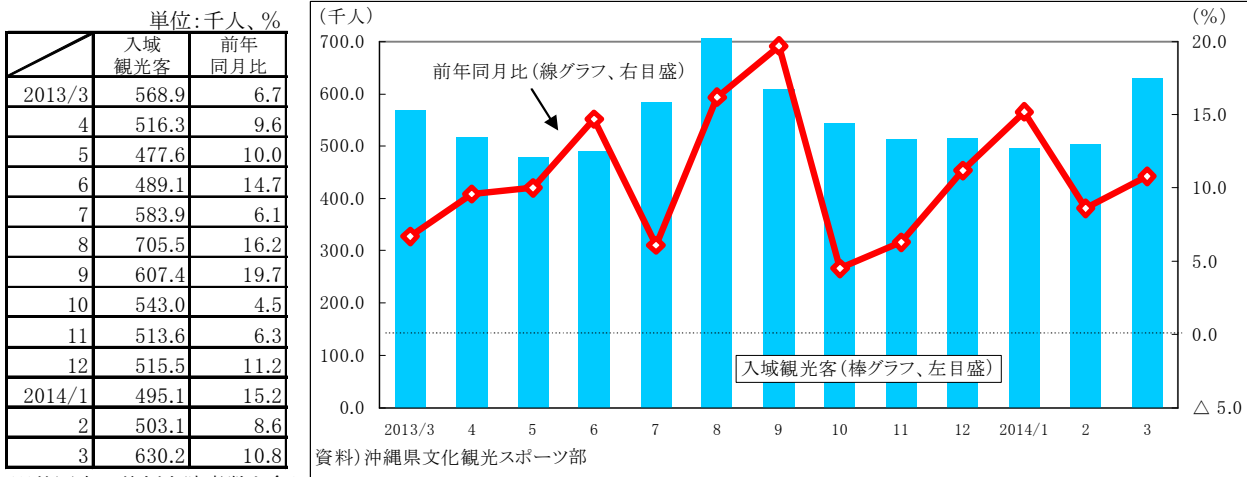


新設住宅着工戸数(2月)は、全体で1,298戸となり、「分譲住宅(同78.8%減)」が前年同月を下回ったものの、ウェイトの高い「貸家(同55.8%増)」や「持家(同34.6%増)」などが全体を押し上げ、前年同月を11.7%上回りました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数…18ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は特例上陸者数を含む

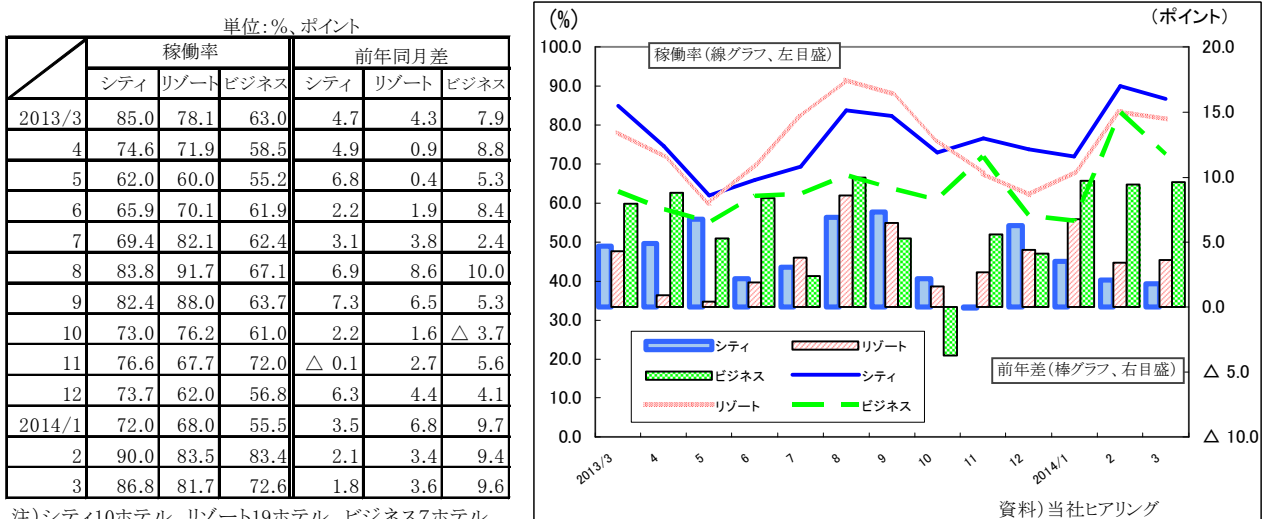
3月の入域観光客数は、61,300人多い630,200人(前年同月比10.8%増)となり、18ヵ月連続で前年同月を上回りました。(3月としては初の60万人超/2013年度は過去最高の658万人)

内訳をみると、「国内客(同6.8%増)」は581,500人と継続的なLCC・石垣路線の拡充などにイベント効果も加わり、5ヵ月連続で前年同月を上回りました。主要路線別で見ると、「福岡方面(同0.4%減)」を除く各路線で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同98.0%増)」は、48,700人と8ヵ月連続で前年同月を上回りました。継続的な円安効果、航空路線の拡充、尖閣問題等で落ち込んだ前年の反動(中国客)などにより、各地域から増加しました。「台湾(同77.9%増)」「韓国(同83.6%増)」「中国本土(同約9.5倍/900→8,600人)」「香港(同52.8%増)」

※ 特例上陸者を除く2014年3月実績=全体627,600人(同10.7%増)、外国客46,100人(同103.1%増)、国内客は変わらない。

②ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。



注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

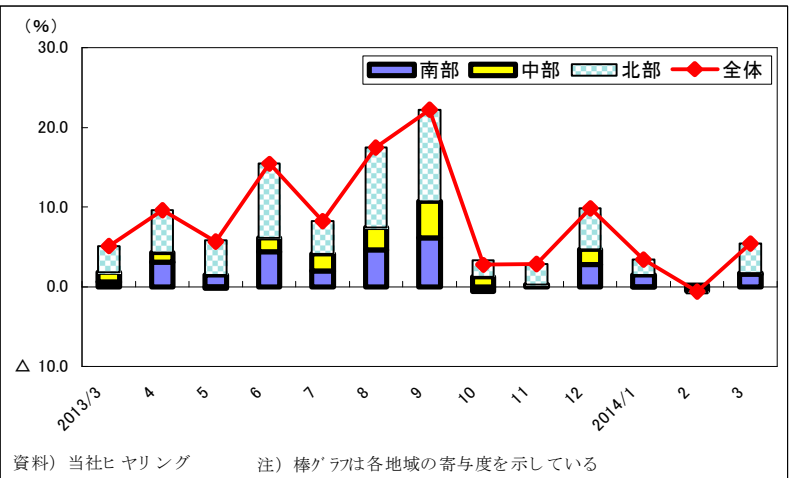
県内ホテル稼働率は、シティホテルが86.8%と1.8ポイント上昇(4ヵ月連続)、リゾートホテルが81.7%と3.6ポイント上昇(15ヵ月連続)、ビジネスホテルが72.6%と9.6ポイント上昇(5ヵ月連続)しました。

③観光施設入場者数…2ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2013/3	5.1	1.5	8.6	7.4
4	9.6	7.8	8.1	11.7
5	5.7	3.7	△1.1	9.7
6	15.4	10.6	14.5	19.9
7	8.2	5.9	18.6	7.5
8	17.5	13.2	21.2	19.4
9	22.2	17.4	38.6	21.9
10	2.7	△1.4	10.2	4.6
11	2.9	0.6	0.05	6.1
12	9.9	6.5	14.4	11.6
2014/1	3.4	4.0	△0.1	4.0
2	△0.6	0.6	△4.0	△0.5
3	5.4	4.1	1.2	8.0

\*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



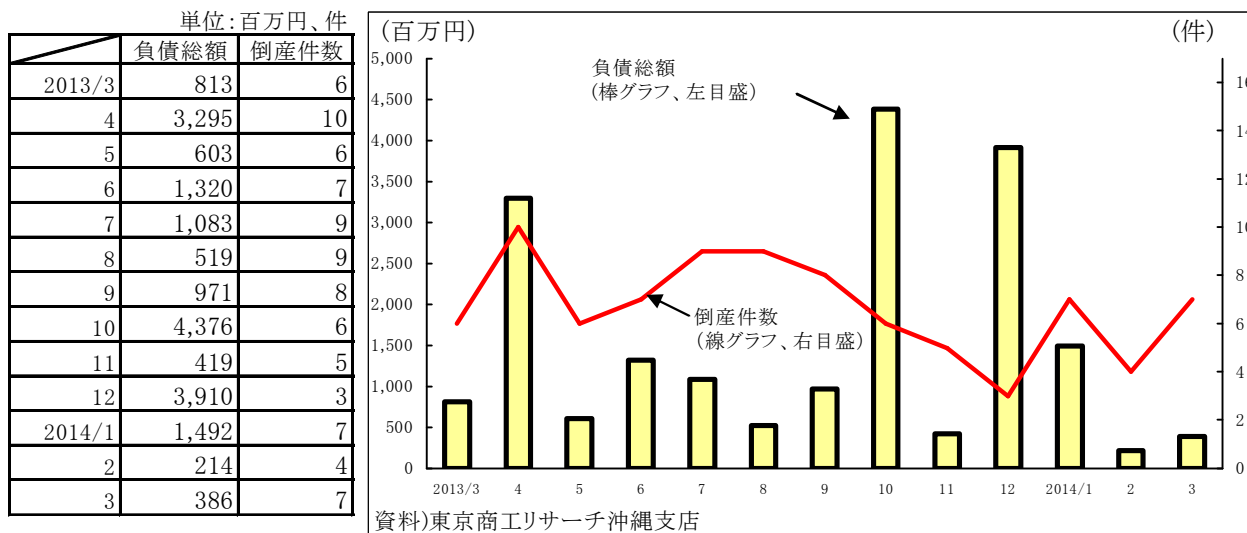
**観光施設入場者数**は、全体で前年同月より5.4%増加(2ヵ月ぶり)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同4.1%増と5ヵ月連続、中部は同1.2%増と3ヵ月ぶり、北部は同8.0%増と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。





■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

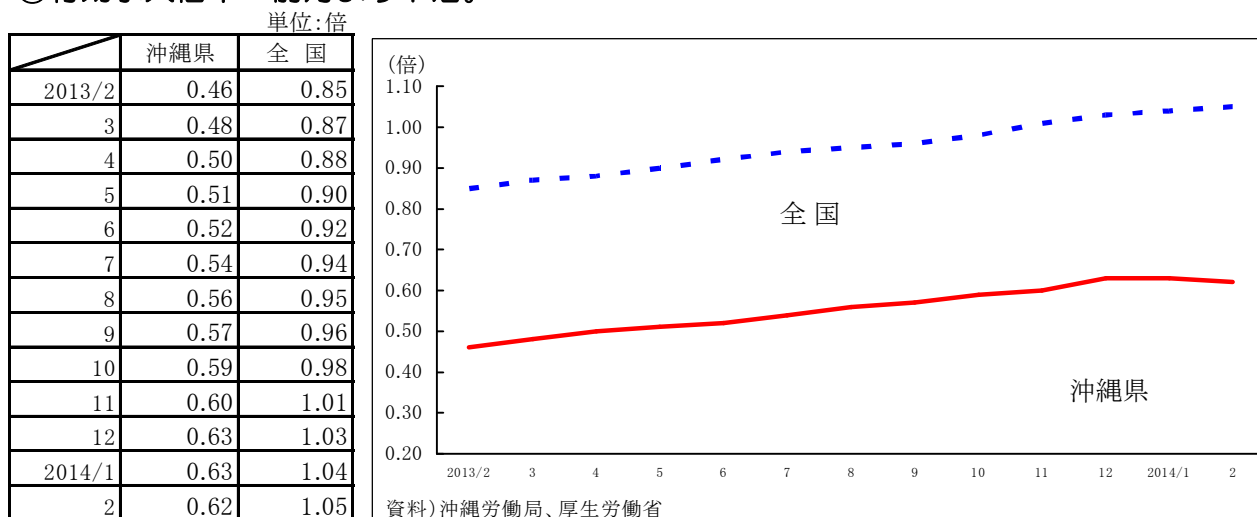


3月の企業倒産件数は、7件(うち、10億円以上の大型倒産が0件、1億円以上の大口倒産2件)発生し前年同月を16.7%上回りました。一方、負債総額は3億8,600万円と52.5%下回りました。



【参考】雇用関連: (ふつう)

①有効求人倍率…前月より下落。



注) 季節調整済

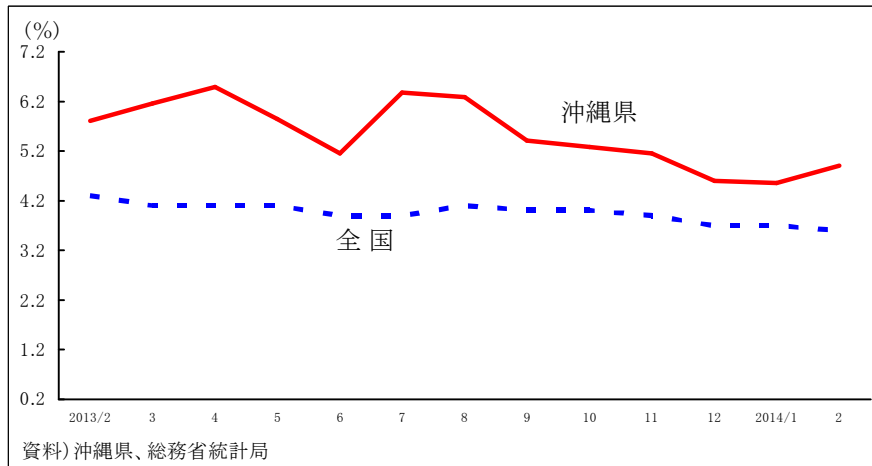
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

2月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比2.5%減の19,369人に対して、月間有効求職者数(同上)は同0.6%減の31,284人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.62倍となり前月より0.01ポイント低下しました。

② 完全失業率…前月より上昇。

単位:倍		
	沖縄県	全国
2013/2	5.8	4.3
3	6.2	4.1
4	6.5	4.1
5	5.8	4.1
6	5.2	3.9
7	6.4	3.9
8	6.3	4.1
9	5.4	4.0
10	5.3	4.0
11	5.2	3.9
12	4.6	3.7
2014/1	4.6	3.7
2	4.9	3.6

注) 季節調整済



2月の完全失業率(季節調整値)は、4.9%となり前月より0.3ポイント上昇しました。